

第2回臨時会

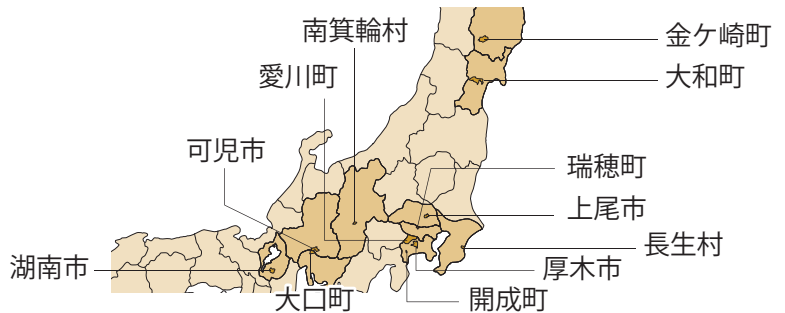
7月14日に第2回臨時会を行い、まちより上程された議案2件について審議しました。

平成26年 第2回臨時会 議案等賛否一覧表

議案名	結果			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	賛成	反対	議決結果	飯島衛	金谷重男	岩崎信幸	平形薫	山畑祐男	栗田俊彦	宇都宮敬三	馬場周二	石倉實	小池春雄	岸祐次	小林一喜	神宮隆	齋木輝彦	南雲吉雄	近藤保	
承認 第32号	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認 第33号	15	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥 ※議長は採決に加わらないため「—」で表示

委員会視察 レポート



産業建設常任委員会

埼玉県

神奈川県

東京都

産業振興のための先進地視察

7月16日、17日に4カ所の視察を行いました。

1 農業生産法人(株)ナガホリ(埼玉県上尾市)
平成7年会社設立。
社員7人、パート社員約170人(高齢者を雇用)。経営面積60ha。耕作放棄地を借地し、土壌改良して小松菜などを栽培。東京などの市場に出荷している。

2 神奈川県企業局谷ヶ原浄水場中津配水池小水力発電設備(愛川町)
平成23年、浄水場からの落差29㍍を利用して、小水力発電設備を設置。出力最大100キロワット。一般家庭約91戸分、電力会社へ売電。

3 神奈川県内陸工業団地協同組合(厚木市)
昭和41年、中小企業等協同組合法に基づ

き設立。組合員は企業107社、その従業員は1万5千人。団地の総面積は、約235万平方㍍。

4 東京都瑞穂町
人口3万3864人、面積約17平方キロ㍍。交通の要衝にあり、工場や物流関連施設が多い。「ジョイフル本田瑞穂店」(平成19年出

店)などの大型商業施設がある。
今回の視察研修では耕作放棄地を活用した農業生産、企業・大型商業施設誘致、小水力発電などの知識の習得が図られました。有意義な研修であり、まちの産業振興に生かしたいと思えます。
(委員長 神宮 隆)



子ども・子育て支援を学ぶ

7月22日、23日、長野県南箕輪村、岐阜県可児(かに)市を視察しました。南箕輪村は、全国の村で唯一の国立大学(信州大学農学部)が存在。他に県立上伊那農業高校、村営の5保育園、小学校2校、中学校1校で教育環境は充実しています。特に子ども・子育て支援事業として、児童発達支援の療育施設「たけのこ園」、長時間保育は、5園すべてで実施し、高校生までの医療費の無料化を実現しました。

め防止専門委員会を設置。また、地域ぐるみの対応として家庭や学校だけでなくいじめ防止の協力事業者や団体を募集し、120事業所と7団体を認

定し通報・相談に対応する組織をたちあげました。今回の視察を、まちな子育て支援および児童福祉に生かしたい。

(委員長 小林一喜)



全国第1位・2位の東北の2広報紙を研修

8月6日、7日の2日間にわたり、広報紙編集技術向上のための視察研修を行いました。大和町の議会だよりは、平成25年度町村議会広報全国コンクールで優秀賞(全国第2位)を受賞しており、その編集技術は高い水準にありました。編集方法などはまちの議会だよりとほぼ同じでしたが、印刷費の安さには注目すべきものがありました。

感じた。議会終了後の翌日と翌々日に編集委員会が開催され、編集のおおむねのレイアウトを終え印刷に出すとのことでした。委員各自のフットワークの良さ、委員相互の紙面づくりに対する認識の共有化が図られていると感じました。

全国コンクールで第1位と第2位にランクされた両町議会らしく、読みやすく、わかりやすい議会だよりを目指し、委員一丸となって編集に取り組む熱い姿勢を感じました。

(委員長 平形 薫)

金ヶ崎町の議会だよりは、同じく平成25年度町村議会広報全国コンクールで最優秀賞(全国第1位)を受賞した広報紙です。特筆すべきは、発行までの所要日数が22日と、きわめて短く、定例会翌月の第1木曜日とのこと



健全な財政と運営を学ぶ

8月18日から20日の3日間にわたり、愛知県大口町と滋賀県湖南市を視察研修しました。

大口町は、昭和30年代の高度経済成長期に工業誘致条例を設け、産業振興を推進してきました。地域環境も良く70余りの企業が進出し、現在では自主財源比率が76・6%であり、法人税が財政の基盤です。

リース物件は買い取り、使えるものは使う、事務改善を行うなど経費削減の見本のようなところが多く、見事な財政運営であると思いました。

湖南市では、議会基本条例制定の一環の中で予算委員会、決算委員会(任期2年)を設け、この中に分科会や小委員会を設

けて、一般・特別・企業会計を3日から4日間をかけて詳細に審査をしています。予算委員と決算委員が重複することはない、多くの議員が関与できると思いました。

きるようにしています。また、詳細な予算・決算重点事項説明資料もあり、まちとしても必須であると思います。

(委員長 齋木輝彦)



議会基本条例制定の経緯を研修

8月26日、27日の2日間にわたり、神奈川県成町と千葉県長生村を視察研修しました。

開成町は、平成18年から議会改革の検討を始め、先進地視察を行い、議員定数・通年議会・日曜議会など試行的に実施し、平成22年に議会基本条例を制定しました。その後も住民報告会を実施しています。自治法第96条2項の議決案件も決め、一般質問では答弁骨子まで出すようにしています。

長生村は、平成21年6月に議員全員で議会改革検討特別委員会を設置し、この中に分科会を設けて検討し、3常任委員会を2常任委員会に減らししました。また、通年議会や住民報告会を実施し、平

成21年12月には議会基本条例を制定しました。自治法第96条2項の議決案件は、分科会を設けて執行側と協議をしています。

両町村とも住民に開かれた議会を目指しているのは間違いありません。

(委員長 齋木輝彦)

